MONTHLY NEWS
京都画廊連合会ニュース
THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS
2008 12月号
No.－404

京都市美術館コレクション展 第三期
ふたつで一つ

と　き／11月15日(土)～１月18日(日) ９：00AM～５：00PM
ところ／京都市美術館（月曜日と12/28～１/ ２休館）
京都市左京区岡崎公園内　☎075−771−4107

膨大な質量を誇る京都市美術館の所蔵品の中から、あるテーマに絞って選び出された名作を鑑賞できる好機。今回は「ふたつで一つ」のコンセプトにより絵画、彫刻、工芸、書、版画というあらゆる分野から約80点を展示している。

やなぎみわ「案内嬢の部屋 1F」 1997年

菊池契月「小楠公弟兄」
1943年

表題により誰でもまず最初に考えつくのが屏風や掛軸の１対、１双、双幅という言葉で表現される作品だ。多くは一人の美術家によりあらかじめ想定され､左右１対で完結するもの。左右対称、左右同一、また対称的なものなどである。季節でいえば春秋、植物なら白梅紅梅、人物なら夫婦や兄弟姉妹、母子、友人などがある。版画や陶芸などでは同じ文様が反復して使用されたりする。こうした導入部を過ぎると企画者の目は、同じ作者の別作品や、モチーフが共通する二作家の作品なども対比的に展示することで新たな「対」を見つける試みも行っている。中には、えっ、こんなものが対？ といったものに出くわす楽しみは、年末年始のひとときに美術館を訪れる美術ファンのみに与えられるご褒美だろう。

2008 京都美術ビエンナーレ
（京都府美術工芸新鋭展）

と　き／11月29日(土)～12月14日(日) 10：00AM～６：00PM
ところ／京都文化博物館　４階特別展示室
京都市中京区三条高倉　☎075−222−0888

京都府では、新進作家の育成を図るとともに、卓抜した創造性・技術性を備えた作品を紹介することを通して、これからの美術・工芸の一層の振興に資することを目的に、これまでに多くの公募展や選抜展を開催してまいりました。昨年度からは、その更なる発展を目指して、美術分野と工芸分野とを隔年で開催するビエンナーレ形式とし、それぞれの分野の特色をより一層活かせるよう、企画しております。今年度は、美術ビエンナーレと題し、美術分野の作品をご紹介します。全国公募による〔公募部門〕と､京都の俊英作家･新鋭作家を紹介する〔招待部門〕からなり、また源氏物語千年紀にあわせて、『源氏物語』をイメージした作品もご紹介します。

（金曜日は７：30PMまで開室）

会場＼日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 (日)	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 (日)	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 (日)	22 月	23 (火)	24 水	25 木	26 金	27 土	28 (日)	29 月	30 火	31 水	
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761−4111	「現代美術への視点－エモーショナル・ドローイング展」																						コレクション・ギャラリー（常設展）			休館						→1/5
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541−1151	特別展覧会「japan蒔絵－宮殿を飾る東洋の燦めき－」 特別公開「篤姫をめぐる人と刀剣・甲冑」							建替にともない平常展示館は休館いたします																								
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222−0888	2F	平安時代の器類－発掘された平安時代の陶磁器類－（～３／　）																														
	3F	源氏物語千年紀「匠の美と技」																														
	4F	2008 京都美術ビエンナーレ																														
	5F				第93回表展（表装展覧会）						Belle Forme Shadow Box 展Ⅳ						第18回帆の会展																
											金愛子展						袁金塔　個展															
	6F											京都展「千年の雅」							堀出恒夫写真展～片岡秀太郎のこころ～													
	別館				輝きの手彫りガラス京都展																												
																										休館						→1/3

会場 ＼ 日曜		1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771−4107	本館	京都市美術館コレクション展　第３期　ふたつで一つ（～１／18）																															
	本館	第76回独立展												第40回　日展京都展（～１／16）																			
	本館	第93回二科展												第40回　日展京都展（～１／16）																			
	本館			第25回産経国際書展関西展										第40回　日展京都展（～１／16）																			
	本館													第40回　日展京都展（～１／16）																			
	別館		グループＫ２							京都とっておきの芸術祭							日本・コリア友好美術展2008						第46回全市子ども会自由画美術展									
	別館		第68回創紀展															京都キルト公募展															
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222−1046	1F		国画会・京滋作家展（絵画・版画・彫刻）							筍々会展（日本画）							日本画ん展																
	2F									畝展（日本画）							成展（日本画）																
	3F																	蛸田窯・百碗展															
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26　463−0007		風景へのまなざし西・東－憧れの欧州紀行																															
㊟ 何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側　525−1311		色は匂へど・上野憲男展（月曜休館）																															
㊟ 思文閣美術館 左京区田中関田町2−7　751−1777		奇想の編集者　宮武外骨展																															
㊟ 髙島屋 下京区河原町四条下ル 221−8811	画廊			元村平展（洋画） 栗本夏樹展							日本の美 平山郁夫展（日本画）							第13回　21世紀の目展						十騎会40回展（洋画） 彩趣会日本画展									
	グランドホール																																
㊟ 大丸 中京区四条高倉 211−8111	画廊	菅かおる日本画展		迎春　和の美 テーブルウェア展							京の中古道具市																		西洋工芸品バザール				
	画廊	通次 廣 茶陶展		大塚千聰日本画展							緒方修一 ステンドガラス展							軸装紅札市											新春来福　博多人形展			
	ミュージアム																																

会場 ＼ 日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
㊟ 中信御池ギャラリー 中京区御池寺町角　213−0035	休館																															
㊟ 並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東　752−3277	開館５周年記念 特別展　七宝の魁							休館																								
㊟ 美術館「えき」KYOTO ＪＲ京都伊勢丹７Ｆ　352−1111	エリック・カール展																															
㊡ アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入　221−5397	+カメラ写真展																															
㊡ ㊟ アートスペース虹 三条蹴上都ホテル隣　761−9238		伊藤仁展（平面）						原憲太郎展（平面）								絹田恵一展（彫刻）						冬期休廊										
㊡ ㊟ アートスペース東山 東山区三条神宮道東入　751−1830		小原素彦展（月曜休廊）														創型会京都展（彫刻）						冬期休廊										
㊡ ㊟ イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入　761−7372	川村悦子展 自然のかたちを求めて													三瀬夏之介「J」														冬期休廊			
㊟ 石屋町ギャラリー 木屋町三条下ル東入ル　222−2171	ウィンドー展示																															
㊟ 一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル　211−1013	常設展（日本画・洋画）														一萠会展														常設展（日本画・洋画）			
㊡ 芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル　231−3613	木版画常設展																															
㊟ 絵草子 東山区新門前通東山西　551−9137	常設展																															
㊟ ㊡ 延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入　211−5552	杉江　智展 （クリスタル）													常設展																		
㊟ 御池画廊 北区小山上総町20-2　492−3083	常設展（移転開廊　地下鉄烏丸線　北大路駅①出口（今宮通）東側）（11：00 ～ 18：00　水・祝休廊）																												冬期休廊			
㊟ カギムラ画廊 左京区東大路二条上ル　752−0725	常設展																															
㊟ 画廊おかざき 岡崎平安神宮道　761−0027	現代工芸作家常設展																															
㊟ 画廊きよみず 東山区清水五条坂　525−2062	日本画常設展																															

→3/8　→1/4　→3/13　→1/6　→1/5　→1/11　→1/7

㊟：企画および常設を中心に活動する画廊　㊡：貸画廊

生誕100周年記念写真展 「KARAJAN」

と　き／11月12日(水)～12月28日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／京都ギャラリー
京都市中京区烏丸通錦小路上ル　メディアジョイITビル9F
☎075−257−5435

概要：20世紀を象徴する偉大な指揮者ヘルベルト・フォン・カラヤンをテーマとしま したモノクロ写真展。
フォトグラファーは世界的な写真家集団「マグナム・フォト」に参加した経歴を持ち、数々の受賞暦を誇るオーストリアの写真界の重鎮エリック・レッシング 氏、
今回は傑作の中から選りすぐりの約20点を展示。

主催：NPO法人　映像文化保存普及会

後援：京都府後援
京都市後援
京都市教育委員会後援
ドイツ連邦共和国総領事館後援
京都新聞社後援
α-STASION FM KYOTO　後援

協力：ライカカメラジャパン株式会社
京都ギャラリー：http://www.kyotogallery.com

川　崎　尊　康　展

と　き／12月２日(火)～12月７日(日) 11：00AM～６：30PM
ところ／ギャラリー青い風（月曜休廊・最終日５：30PM）
京都市左京区岡崎円勝寺町91神宮道東側　☎075−752−0182

色彩の錬金術

「色彩の錬金術」とは使い古されたレトリックだが、その言葉の真の意味にふれさせてくれる作品はそれほど多くはない。今回の川崎の作品は、この言葉が単なるレトリックなどではなく、字義どおりの事態を言い表している言葉であることを示してくれる。

生動的な色彩によって生みだされる川崎の作品において、色彩は互いに近傍の色彩と強烈な化学反応をし、それぞれの色彩は単独では果たし得なかった鮮やかな色彩へと変化する。親和性のある色彩は互いに結合しはじめ、ある色彩は別の色彩に近接するだけで沈殿してしまい、さらにまた三つ目の色彩が衝突するところでは親和的に結合したはずの色彩に分離がはじまる。

一枚の作品においても、実にさまざまな色彩がそれぞれに化学反応をするために、知覚はそれをすべて見尽くすことはできず、したがってその反応も収束することがない。しかもこの一枚の画布のなかで収束しない色彩の連続した化学反応は、作品と次の作品とのあいだでも生じることになる。眼前の作品は前の作品と反応し、そして次の作品とも反応する。さらにこの色彩の化学反応は、それを見るものの知覚のあり方だけでなく、心を深く変容させることになる。

「トゥーランドット」（100F）

深層心理学が教えるところによると、錬金術とは実は卑金属から貴金属を作りだすことにとどまらず、そのプロセスにおいて心の変容をもたらすものであったという。その意味でいえば、「色彩の錬金術」とは、色彩によって心を変容させる技（art）ともいうべきものである。川崎の作品群をめぐり、ふたたびめぐり、さらに三度めぐるうちに、その色彩の錬金術の技によって、わたしたちは、深い心の変容の旅を果たすことになる。

（京都大学大学院教育学研究科教授）矢野　智司

＜川崎尊康＞
1986～2007年　個展（東京、大阪、京都、海外等約20回）他
現在　滋賀県大津市在住

與倉　玲個展

と　き／12月１日(月)～７日(日) 11：00AM～７：00PM
ところ／画廊後素堂（会期中無休）
京都市上京区新町丸太町下ル　☎075−231−0938

秋分となりつつある拮抗。
矢を番え、和解し得ない趣味。
実物大の遺構地図をつくる方法を探す。
火の玉を握りつぶす。情感の酸で磊塊(ライ)を融からしむ。
これらは形をとらず、
声にもならないのか。
古典的膠着から逃れたという
幻想なのか。

漁師　８号変

〈與倉　玲画歴〉
1971年　京都に生まれる
1996年　春期創画展入選（以降出品）
1999年　関西・今日の作家展（佐藤美術館・戸村美術）
臥龍桜日本画大賞展
2000年　夢限展（東京・戸村美術、'02年まで）
川端龍子大賞展入選
2001年　創画展入選（以降出品）
2002年　上野の森美術館大賞展１次賞候補
2003年　個展（京都・画廊後素堂、以降毎年）
2004年　京都市立芸術大学美術研究科大学院博士（後期）課程単位取得卒業
2005年　第１回さく展（京都・画廊後素堂、以降毎年）
2007年　第１回創層展（京都・京都市美術館別館、以降毎年）
上野の森美術館大賞展彫刻の森美術館賞
2008年　上野の森美術館大賞展受賞者展（東京・上野の森美術館ギャラリー）

ジーン・マン新作絵画展

と　き／11月22日(土)～12月14日(日) 11：00AM～６：00PM
ところ／ギャルリー宮脇（会期中11/25、12/１、12/８休廊）
京都市中京区寺町二条上ル東側　☎075−231−2321

ジーン・マン（1953−グルノーブル出身）は、現在ジュネーブを拠点に活躍するセルフトート・アーティスト。彼女の衝動的で感情的な創造世界には、絵画が本来持つ魔力、予測不可能な表現性が存分に発揮されている。その素早い筆致の無作為的なリズムとジェスチャーは、劇的でエネルギッシュな空間を展開している。ペインティング・コラージュとでも呼べる、様々な素材の重層的な組み合わせと、そこに骨太で奔放に描かれる形象は、絵画の二次元性を超え、多義性に富んだイメージを生み出している。

今回の新作では、そうした強烈なマチエールの奥に、ザワザワと蠢く群像が朦朧と浮かび上がっている。それは人間の虚ろさや傷つきやすさを象徴してるかのようだ。先史時代の洞窟壁画を想起させる半抽象性、意表を突く大胆な構成、夢幻的な色彩に包まれた作品は、創造の衝動的エネルギーと謎に満ちている。100号から20号を主にした新作絵画約30点発表。

「現在の使者」150×120cm
ペインティング・コラージュ

「壊れやすい群像」100×80cm
ペインティング・コラージュ

源氏物語千年紀の掉尾をかざる
玉村方久斗の源氏絵

と　き／12月２日(火)～12月21日(日)　10：30 AM～６：00PM
ところ／星野画廊（12/ ７と毎月曜休廊）
京都市東山区神宮道三条上る　　☎075−771−3670

【源氏絵、伊勢物語、竹取物語、保元物語などの名場面特集】

年始に京都国立近代美術館で開催された玉村方久斗の遺作展で「雨月物語」の斬新な切り口の一種劇画的画面が評判を呼んだ。当画廊の方久斗コレクションの多くも同展で展示されたが、見逃した方や再見を願うお客様も数多くあり、ここに源氏物語などの物語絵を特集して本年の画廊活動の締めくくりとしたい。

京都の絵画専門学校で伝統的な絵画技法を基礎から学んだ方久斗は、東京に出てからすぐに大正期前衛作家のひとりとして頭角を現し、様々な実験的作品を制作した。と同時に流麗な筆さばきと豊富な色彩による物語絵を様々に描いている。日本美術院時代からのモチーフである雨月物語や平家物語などだ。その後も伊勢物語や竹取物語、保元物語から主題を得て、実に個性的な絵画を描いた。

本展では、そうした方久斗の実力と際立つ個性が顕著となる物語絵ばかりを特集陳列することにより、玉村方久斗の真価に触れる機会となることを祈念する。

「源氏物語」
昭和4～7年頃

「虫の音」 昭和初期頃

「野々宮小柴垣」 昭和初期頃

「竹取物語」 昭和初期頃

三瀬夏之介 J　展

と　き／12月13日(土)～12月27日(土)　10：00AM～６：30PM
ところ／イムラアートギャラリー（日・祝休廊）
京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31　☎075−761−7372

この度、イムラアートギャラリーでは初の個展となる三瀬夏之介展「J」を開催いたします。本展は来年1月に東京の佐藤美術館で開催される、三瀬にとってこれまでの集大成となる個展「冬の夏」への前哨戦ともいえる個展となります。

三瀬は、奈良に生まれ奈良で育ち、そして京都市立芸術大学大学院で学びました。2002年トリエンナーレ豊橋での大賞受賞をはじめその後も日経日本画大賞出品、文化庁作品買上のほか全国的な規模で個展、グループ展、美術館での出品などを数多く行い、今や日本画の世界だけでなく美術界全体から注目される存在となりつつあります。

そして一昨年は、五島記念文化財団研修員として一年間イタリア、フィレンツェに渡り、また昨年は大原美術館アーティストインレジデンス（ARKO）に参加するなどその活動はますます精力的になってきています。

三瀬の作品は自分の生まれ育った奈良や日本など、自分の居る場所を題材に描かれています。昨年のフィレンツェでの一年の滞在は、三瀬に新たな出会いやパワーを与え、大きく彼を成長させるものとなりました。帰国後も休むことなく、中国や台湾などの美術館での展覧会にも新作を発表しており、彼の筆はとどまることを知りません。

本展では、最新作を含めた大作3点と、小作品を一堂に展示いたします。その名も「J」。この「J」にはどんな思いが込められているのでしょうか。絶えず進化を続ける三瀬。是非ともご高覧ください。

三瀬　夏之介　mise natsunosuke
1973　奈良に生まれる
1997　京都市立芸術大学 美術学部 美術科 日本画専攻　卒業
1999　京都市立芸術大学 大学院 美術研究科 絵画専攻　修了
2002　第２回 トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展　大賞（豊橋市美術博物館／愛知）
2006　五島記念文化賞 美術新人賞
2007−8　五島記念文化財団研修員としてフィレンツェにて研修

「Ｊ」 182 × 242 cm

丸木位里・俊・スマ展

と　き／12月16日(火)～28日(日) 12：00～７：00PM
ところ／ギャラリーヒルゲート（最終日～５：00PM）<12/22(月) 休廊>
中京区寺町三条上ル西側　☎075−231−3702

1989年以来、ほぼ毎年開催してきた丸木位里・俊の作品展に、16回目を迎える今回は、位里の母スマさんの作品を加え、三人の遺作を展示致します。

1875年（明治８）年に広島の農家に生まれたスマは、家業の船宿と農業を切りもりしながら、三男一女を育てました。1945年には原爆を体験し、翌年、夫を亡くします。70歳をすぎてから、長男位里の妻俊のすすめで絵筆をとり、動物や花など生命あるものを81歳で亡くなるまで色彩豊かにおおらかに描きつづけました。

その作品は女流美術展や院展でも高く評価され、当時の画壇に驚きをもって迎えられました。

丸木スマ「小鳥と仙人と花」

「原爆の図」で知られる丸木夫妻は、ともに戦前から日本画・洋画の作家として活躍してきました。'39年に日本で初のシュールレアリズムの団体、美術文化協会を福沢一郎や麻生三郎とともに創立したメンバーでもあります。

丸木位里「ニースの牛」

その時代の主流に制約されることなく、自己の内面から溢れるものを自由に表現した三人の画家。その生命力に満ちた世界をどうぞ御高覧下さいませ。

ギャラリーヒルゲート

丸木俊「花と母子」

講演会

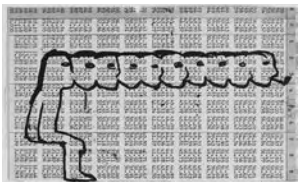
「位里の原爆の図と俊の原爆の図から考える」
〈講　　師〉 尾崎真人氏（美術史家）
〈日　　時〉 12月20日(土) ４：00～６：00PM
〈申し込み〉 定員40名（事前にギャラリーまで、TEL・FAX・ハガキにて、お申し込み下さい）。

現代美術への視点
エモーショナル・ドローイング展

と　き／11月18日(火)～12月21日(日) ９：30AM～５：00PM
ところ／京都国立近代美術館（月曜休館）
京都市左京区岡崎公園内　☎075−761−4111

素朴、脆弱、未完成といった言葉で形容できるドローイングをつくるとき、アーティストは、完璧さを目指すよりも、むしろその弱さに寄り添いながら自分の内に潜む（エモーション：感情）を（なま：生）のままで引き出そうとするのかもしれません。本展では、創作の衝動としての「ドローイング」に焦点をあて、アジアやヨーロッパを中心に活動する現代の美術家16名の作品を取り上げます。イケムラレイコ、奈良美智、坂上チユキらの素描・水彩画や、辻直之、アヴィシュ･ケブレザデ、ナリーニ･マラーニらによるアニメーションや影絵、マニュエル･オカンポ、アマル･ケナウィ、ミツ・センらによるインスタレーションなど､幅広く展開するドローイングの現在を紹介します。

奈良美智「untitled」
2008年


S. テディ D.「ダサムカ(対数的頭部)」
1996年

ミトゥ･セン「尾の陰にいる虎」
2007年

キム・ジュンウク「無題」
2006年

アディティ・シン「無題」
2007年

アヴィシュ・ケブレザデ「裏庭」
2005年

会場 ＼ 日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
企 貸 画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938		與倉玲　個展						貸画廊受付中																								
企 画廊彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468		常設展（土・日・祝日休廊）																														
企 画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225		日本画常設展																														
貸 画廊ビーナス 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104		京都・ミュンヘン近郊の12月風景							みんなで展覧会						京都・ミュンヘン近郊の12月風景							年末年始休廊										→1/12
貸 ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717				シャボーRITSUKO帽子教室作品展				貸ギャラリー予約受付中																								
貸 企 ギャラリー青い風 左京区岡崎神宮道東側 752-0182			川崎尊康展（洋画）						休廊					中村泰州展（洋画）（月曜休廊）									冬期休廊									
貸 ギャラリーいちかわ 下京区河原町松原上ル 351-7267			水彩画オイルパステル画 和田弥生個展																													
貸 企 ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979					この1年をふり返る展（軸装など）　松本祐佳																			冬期研修旅行休廊									
貸 企 ギャラリーおいけ 中京区東洞院御池下ル笹屋町 221-3601			warm cray Gallery ぬくもりの粘土展						天田毅　迎春用器展・萩焼器展（月曜休廊）																				休廊				→1/7
貸 企 ギャラリー押小路 中京区押小路間之町東入 212-8345																																
貸 ギャラリーカト 1F 中京区寺町御池下ル 231-7813 2F		西田敏雄油彩画展							第12回金箔の雅び展							How are you PHOTOGRAPHY												年末年始休廊				→1/11
		西田敏雄油彩画展							えびね会展							クラマ画会後期展												年末年始休廊				
企 貸 ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558																								神門やすこ墨と遊ぶ4th				冬期休廊			→1/25
														柴田千壽子展（油彩）																		
貸 企 ギャラリー河原町 中京区河原町二条上ル 231-6249																																
									院展　日本画　常設展																						休廊		
貸 ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955			第10回 丸池'69展							京都産業大学 写真部展							京都産業大学 写真部展						水垣力 信楽作作展								
貸 企 ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入ル 771-1011			山田修市展 －散歩－						「一寸のアート」part.6 櫻井靖子・長谷川政弘（月曜休廊）															冬期休廊								→1/12

会場 ＼ 日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
貸 ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767														斎藤卓治　紙の昆虫たち展																		
貸 企 ギャラリー三条 中京区三条小橋西入 221-3341			展覧会受付中										瀧谷映画会			展覧会受付中																
企 ぎゃらりぃ思文閣 東山区古門前大和大路東 761-0001		常設展																														
企 ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616		常設展																														
貸 ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154			ハンドメイド編み物［ヤウ］展示会 西岡陽子油絵展						川原崎純子・辻ちあき作品展 （帽子、時計、オルゴール）							写真と水彩画二人展							迎春用絵画・干支展 （絵画・色紙・土人形）										
貸 企 ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238			鷹木朗展（絵画）						岸田良子展（平面作品）													冬期休廊										→1/16
企 ギャラリーすぎうら 東山区三条大橋東入ル 771-3650		常設展																														
企 ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522		常設展：鴨居玲、麻生三郎、平野遼、織田廣喜、斉藤真一、林武、高山辰雄、棟方志功、 白隠慧鶴、沢庵宗彭、曽我蕭白、伊藤若冲、加藤唐九郎、八木一夫、藤井和久、高田博厚　他																															
貸 ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 211-5868		常設展（貸ギャラリー受付中）																														
貸 ギャラリー高倉通 中京区高倉姉小路下ル東片町620 221-3390			桑田田鶴・桑原あずさ 二人展						下川建世　陶展							常設展 貸画廊予約受付中							冬期休廊									
企 貸 ギャラリーテラ 中京区寺町二条下ル 257-1755			小林斐子 草木染織展						第13回 How are you PHOTOGRAPHY?展							唐牛由紀個展 （日本画）																
企 ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164																																→1/4
									常設展（6・9・18・19日休廊）																				冬期休廊			
企 ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632																																
									木村克朗展（洋画）（月曜休廊）																								
企 貸 ギャラリー中井 中京区木屋町三条上る 211-1253			美市京都工芸アートカスタマイズ研究所の仕事						クラマ　'63の会展																								→1/19
貸 企 ギャラリーはねうさぎ 東山区神宮道三条東入 761-9606	room 1		藤尾まりこ展 （平面、立体）						谷山めぐみ展																	Promising Art							
	room 2		ふわり・ちらり・どきり展						願いを叶える展覧会							たましいの芸術大学展5									年賀状展（100人）				冬休み			→1/9
	room 3		井上茜（インスタレーション）						森田存（イラスト）																							
企 ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427																																
									白崎信子ガラス作品常設展																								
貸 企 ギャラリーヒルゲート 1F 中京区寺町三条上ル 231-3702 2F			独立会員・廣田政生展						中川妙子展（油彩）							丸木位里・俊・スマ展（油彩・水彩・水墨）																
			盲導犬チャリティー展																													

会場＼日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
(企) ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761−9710	常設展示（月曜休廊）																														冬期休廊	→1/7
(貸)(企) ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221−0117	3F		篠宮和美展（タペストリー）						佐藤旭展（写真）							京都写真展						冬期休廊									→1/13
	4F		山村紘子展（染織）						How are you photgraphy?																						
	5F		恩地牧人展（インスタレーション）																													
(貸) ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211−5997			大阪金曜会（日本画）						きまゝ会（立体）																						
(企) ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348				ほかほかの器展（月曜休廊） 山本忠正・野村俊彰・堂前邦子																		冬期休廊									→1/29
(企) ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595−5450	陶芸作品　常設展示																					特集・酒器百撰									→1/5
(企)(貸) ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211−7700																															
(企) ギャルリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533−4110																															→1/7
(企) ギャルリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231−2321	幻視・魔境の絵画 ジーン・マン新作展（月曜休館）															常設展（月・祝休廊）														→1/19
(貸) ギャリエヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231−6505	1F		第８回いわくら病院作品展						手工羅布都展							熊代明子刺繍展															
	2F		京都産業大学写真部 秋部展 ３回生						第19回火曜倶楽部展							2008年度立命館大学 陶芸部学外展「色」											ブティック絵画展				
(貸)(企) 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257−5435	生誕100周年記念写真展「KARAJAN」																														
(企) 京都東急ホテルギャラリー kazahana 下京区堀川通五条下ル 341−2646				華やかなる龍と仏の世界　北畠聖龍展																											
(貸)(企) 京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254−7902				望月真千子　押花作品展 ～クリスマスはときめいて～												白磁とグラスアートの展示		オムロン陶芸部手作り陶芸作品展													→1/5
(貸)(企) 京町家ギャラリー桂風 下京区仏光寺高倉東 361−4146	貸ギャラリー受付中																														
(貸)(企) 江寿コンテンポラリ 中京区丸太町寺町西 256−4707	八田哲展「オールドシネマ～ジャクリーヌー」								Border Crossings Ⅱ　現代アメリカ作家３人展																						→1/5
(貸)(企) 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213−3636			村田清司展（平面）						森佳三展（立体）							アクラル・シャンタル 藤本悟展（陶）														

会場＼日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
(貸) 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221−5423	貸画廊受付中																															
(企) 三条祇園画廊 中京区河原町三条東 255−3335	常設展																															
(企) 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255−2232	中西良展															常設展（日・祝休廊）												冬期休廊			→1/4
(企) ニュートロン 中京区三条烏丸西入 211−4588	増野智紀展「変幻自在な日常」（立体）								益村千鶴「Esperanza」（平面）（月曜休廊）																						休廊	→1/2
(企) 大雅堂 東大路通祇園上ル 541−7388	e・g・g・o 0013東儀恭子日本画展															常設展（14・21・23日休廊）														冬期休廊	→1/7
(企) 梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221−3510	日本画・洋画常設展（日・祝祭日休廊）																															
(企) 美術はがきギャラリー便利堂 中京区三条富小路上ル 253−0625	はがき名作コレクション常設展																															
(企)(貸) ヴォイス・ギャラリー 上京区河原町今出川下ル 211−2985	pfs	待場崇生展（彫刻）（月曜休廊）																		小谷真輔展（絵画）									休廊		→1/9
	w	濱口直巳展（ミクストメディア）（月曜休廊）																											休廊		
(企) 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771−3670	源氏物語1000年紀の掉尾をかざる（月曜休廊） 玉村方久斗の源氏絵そして伊勢物語、竹取物語、保元物語など																							常設展					休廊		→1/7
(企) 前田画廊 左京区下鴨本町27 781−2510	日本画・洋画常設展																															
(企) 松本松栄堂 中京区寺町夷川上 212−0626	新・古書画常設展																															
(企) 村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18−4 703−8960	常設展（火・祝日休廊）																														休廊	→1/6
(貸)(企) 山総美術 岡崎平安神宮道 751−6333	山総		中村佳阿璎展（油絵）							今井泰子展					西山さよ子アートフラワー展																	
	シュマン																															
(貸) ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231−2341	貸画廊受付中																															
(貸) 龍枝堂画廊 中京区寺町二条上ル 252−4120	貸画廊申込受付中																															

発行：京都画廊連合会　京都市中京区高倉三条上ル　京都府京都文化博物館内（☎222－0895）
〔京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中〕１年間￥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊（☎771－3670）まで振込用紙をご請求ください。
http://www.kyoto-art.net/